平成 29 年度　第１回 金沢市介護保険運営協議会	資料２
平成 29 年８月 10 日	

【介護保険の実施状況について】

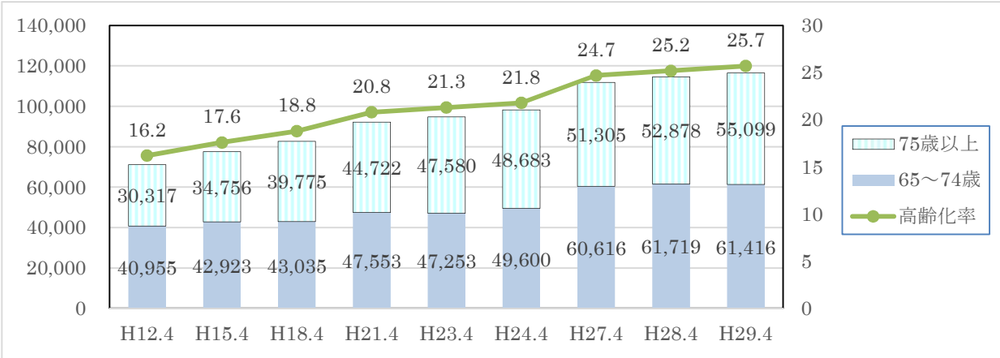
(1) 高齢者数の推移

・本市の高齢化率は平成29年４月現在25.7％で、全国平均27.5％（総務省人口推計平成29年４月報）よりも低くなっている。

・制度創設からの17年間で、本市の高齢者（65歳以上）人口の伸びは1.63倍（全国平均1.61倍）となっている。

内訳　65歳～74歳：本市1.50倍、全国平均1.37倍

　　75歳 以 上：本市1.82倍、全国平均1.97倍



(2) 対象者と利用者の伸び率

・制度創設からの17年間で、要介護認定者数等は2.93倍に増加しており、中でも軽度者（要支援及び要介護１）の伸びが4.36倍と著しい。

・同様に、サービス利用者数は3.29倍に増加しており、要介護認定者数の伸び率（2.93倍）を上回っている。

①65歳以上の被保険者の増加

	平成12年４月末		平成29年４月末	
第１号被保険者数	71,218人	⇒	115,918人	1.63倍

②要介護（要支援）認定者等の増加

	平成12年４月末		平成29年４月末	
要支援及び要介護1	2,790人	⇒	12,167人	4.36倍
要介護2以上	5,172人	⇒	11,201人	2.17倍
計	7,962人	⇒	23,368人	2.93倍

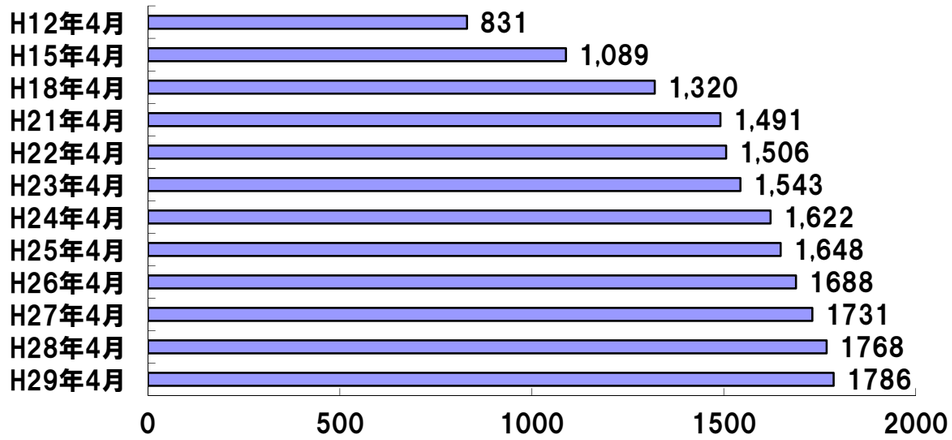
③サービス利用者の増加

	平成12年４月末		平成29年４月末	
在宅サービス利用者数	3,745人	⇒	14,548人	3.88倍
施設サービス利用者数	2,637人	⇒	3,028人	1.15倍
地域密着型サービス利用者数	－		3,442人	－
計	6,382人	⇒	21,018人	3.29倍

(3) 事業者の参入状況

・平成18年度の地域密着型サービス創設を受け、平成21年度までは事業所数が毎年大幅に増加している。

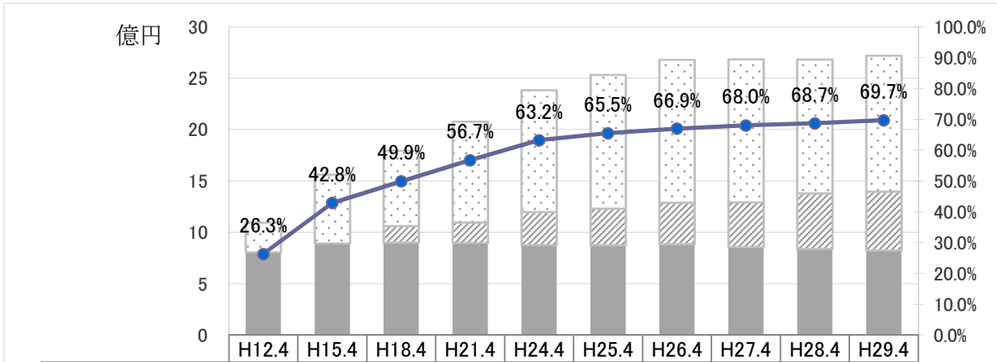
・平成24年度以降は毎年20～40事業所の伸びとなっており、平成29年４月は1,786事業所となっている。



(4) サービス給付の状況

・平成29年４月現在の月当たりの給付費は27億円超となっており、平成26年度以降、ほぼ横ばいで推移している。

・平成28年４月から地域密着型通所介護サービスを開始したため、居宅サービスが減少し、地域密着型サービスが増加した。



	H12.4	H15.4	H18.4	H21.4	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4
居宅	2.88	6.70	7.32	9.79	11.84	13.03	13.90	13.93	13.04	13.21
地域密着型			1.63	2.00	3.23	3.57	4.04	4.33	5.39	5.76
施設	8.08	8.94	9.00	8.99	8.77	8.75	8.86	8.59	8.41	8.24
計	10.96	15.64	17.95	20.78	23.84	25.35	26.80	26.85	26.84	27.21
在宅給付割合	26.3%	42.8%	49.9%	56.7%	63.2%	65.5%	66.9%	68.0%	68.7%	69.7%

＊「在宅給付割合」とは、給付費総額のうち居宅サービス費と地域密着型サービス費を合計した割合